

研究課題名	入院前治療でマクロライド系抗菌薬とキノロン系抗菌薬を使用したマイコプラズマ感染症入院症例の後方視的観察研究
試料・情報の利用目的・利用方法（他機関へ提供する場合その方法）	<p>近年、一般的に使用する抗生剤の効かないマイコプラズマ感染症が出現しています。しかし、学会のガイドラインでは一般的な抗生剤から治療開始することを推奨しています。私たちは、入院前治療で一般的な抗生剤（クラリスロマイシン/アジスロマイシン）を使用していた症例と新しい抗生剤(トスフロキサシン)を使用していた症例で入院経過に差があるのかを調べます。</p> <p>もしも、一般的な抗生剤と新しい抗生剤に差がないのであれば、新しい抗生剤の安易な使用は、さらなる薬剤耐性を生じる可能性もあり、「肺炎マイコプラズマ肺炎にたいする治療指針」に従い一般的な抗生剤を使用することが良いと考えられます。</p>
研究対象者	2024 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに当院小児科にマイコプラズマ感染症で入院加療を行った症例。
利用又は提供する試料・情報の項目	年齢、性別、入院期間、病歴、使用抗生剤の種類、プレドニゾロン使用の有無、血液検査結果（LDH、フェリチン）
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ~ 2026 年 4 月 30 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者の範囲	この研究はベルランド総合病院 小児科のみで行います
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は機関の名称	ベルランド総合病院 院長 片岡 亨
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 小児科 氏名：端 里香 メールアドレス：r_hashi@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）